

公益財団法人 セコム科学技術振興財団
平成 29 年度 事業計画書

平成 29 年度は、引き続き安全問題を中心とする科学技術等の研究開発の助成、普及啓発、情報交流、国際交流、人材育成等を通じて、科学技術の振興を図ることとする。

近年の本財団の収支状況と科学技術の今後の動向を踏まえ、公益目的事業の拡充を図る。特に研究助成事業では、一般研究助成と挑戦的研究助成に加え、研究テーマを財団から指定する形式の新たな研究助成制度を創設し、また研究成果の発表や研究者との交流を図るための行事開催の検討を進めることとし、次の事業を実施する。(総事業予算：795,840 千円 (事業運営費、管理費を含む))

1. 研究助成事業 予算額：708,680 千円

(1) 一般研究助成：予算額 438,680 千円

大学に所属する研究者を対象として、準備研究期間を含め 3 年又は 4 年、研究助成額年間 500 万円から 1,500 万円の研究課題 (1 課題当たり、準備研究 500 万円を含め、総額 5,000 万円以内、研究の進捗状況により増減額を可能とする) を公募し、選考委員会における選考結果に基づき、7 件程度を準備研究として助成を行う。平成 26 年度から平成 28 年度に採択された課題については、選考委員会において、研究報告書の評価結果に基づき本格研究移行及び研究継続の審査を行い、助成を行う。

(2) 挑戦的研究助成：予算額 120,000 千円

平成 28 年度より助成開始した「挑戦的研究助成」を平成 29 年度も実施する。大学に所属する若手研究者を対象として、最長 3 年間、最大総額 900 万円 (最大 300 万円/年) の研究課題を公募し、選考委員会分科会および企画委員会における選考結果に基づき、最大 20 件程度助成を行う。平成 28 年度に採択された研究課題の 2 年目への継続審査・助成も行う。

(3) 特定領域研究助成 (仮称)：予算額 150,000 千円

当財団が時代を先取りするような研究テーマ (領域) を示した上で研究リーダーを選定し、その研究リーダーを中心として複数の研究者からなる研究チームを構成し研究を実施する新しい研究助成制度を創設する。制度の詳細は企画委員会で引き続き検討し、平成 29 年度中に研究テーマ (領域) を 2 つ程度設定の上、各研究リーダーを決定し、研究助成を開始する。

2. 普及啓発事業：予算額 10,000 千円

研究開発助成を行った研究成果報告書 (DVD 形式等) の発行・配布、及び研究成果を一般に広く周知、普及するための研究者取材記事のホームページ掲載等を行う。併せて、助成した研究成果発表を中心とするシンポジウムなどの行事開催について検討を行う。

3. 情報交流事業・国際交流事業・人材育成事業：予算額 20,000 千円

安全・安心に関する科学技術の振興を目的とする学会・シンポジウム・研究会などの学術集会や、将来研究者や技術者を目指す若者・子供たちの啓発・育成を目的とする集会の開催費用を支援する。

助成申請を年 2 回公募し、企画委員会で選考の上、助成する。1 件あたり最大 100 万円として、年間 20 件程度を助成する。

4. その他の事業：予算額 1,000 千円

表彰事業については、継続的な事業実施に向けた検討を行う。その他、今後の財団の助成対象となりうる分野等について、我が国内外の研究動向、官庁の施策や助成機関の動向等に係る調査・検討を行う。